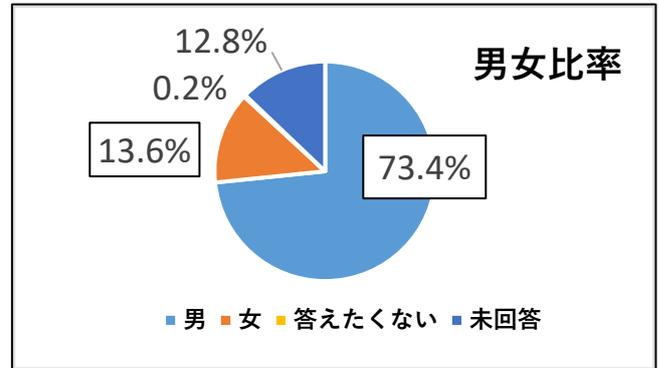


令和7年度自主防災組織リーダー育成研修 受講者アンケート結果

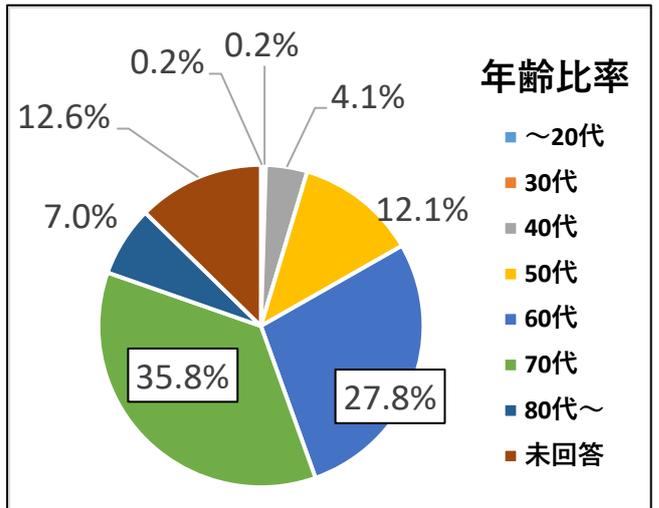
1. 性別

性別	合計	男女比率
男	303	73.4%
女	56	13.6%
その他	0	0.0%
答えたくない	1	0.2%
未回答	53	12.8%
合計	413	



2. 年齢

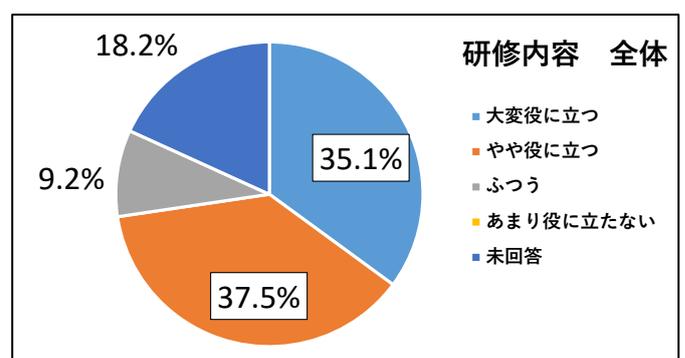
年齢	合計	年齢比率
-20代	1	0.2%
30代	1	0.2%
40代	17	4.1%
50代	50	12.1%
60代	115	27.8%
70代	148	35.8%
80代-	29	7.0%
未回答	52	12.6%
合計	413	



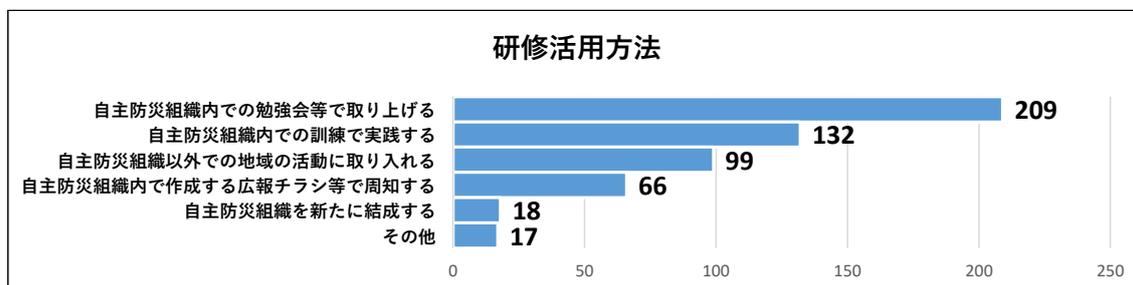
3. 研修内容

(1) 今後の活動に役立つと思うか

研修内容 全体	合計	比率
大変役に立つ	145	35.1%
やや役に立つ	155	37.5%
ふつう	38	9.2%
あまり役に立たない	0	0.0%
未回答	75	18.2%
合計	413	

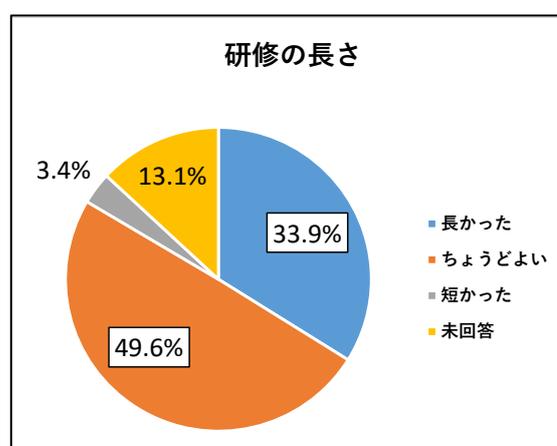


(2) 学んだ内容をどのように活かすか (複数回答)



(3) 本日の研修の長さはどうだったか

研修内容 全体	合計	比率
長かった	140	33.9%
ちょうどよい	205	49.6%
短かった	14	3.4%
未回答	54	13.1%
合計	413	



(4) 講義内容について良かった点や改善点等のご意見 (主な内容のまとめ)

<良かった点>

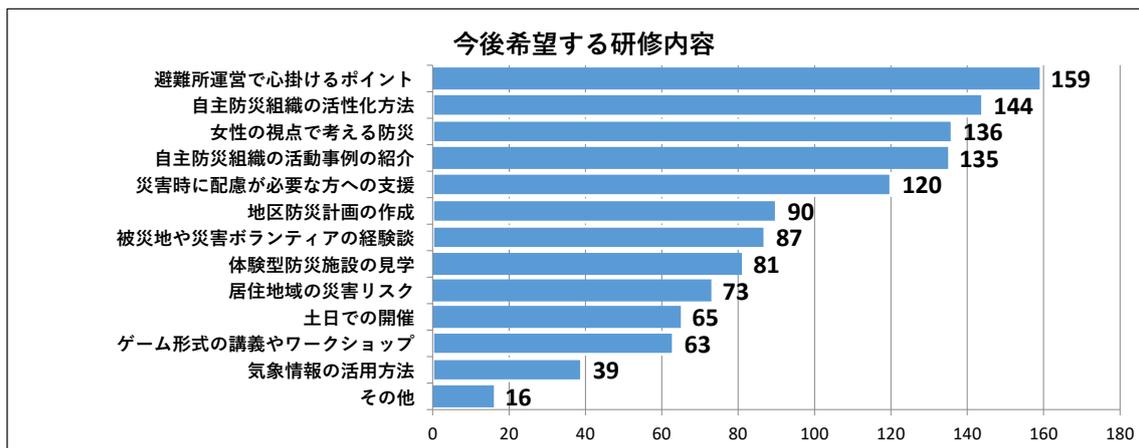
- ・ワークショップ形式が良かった (意見交換・グループ討論が有意義)。
- ・他地域の方と交流できて良かった。
- ・実践感がありよかった。
- ・色んな人の意見が聞けたので考え方の視野が広がった。
- ・資料に基づいた説明が分かりやすかった。
- ・地域防災計画、地区防災計画の違いなど新たな知識を得ることができた。
- ・事例紹介等が参考になった。
- ・声の大きなはっきりした発音の方々の講演でよかった。
- ・女性講師の話が良かった (女性目線の防災の重要性を感じた)。
- ・ミニ講義がたくさんという形がよかった。集中が切れなかった。

<改善点等>

- ・研修時間が長すぎる。2 時間程度でまとめてほしい。
- ・ワークショップの時間が短い。
- ・ワークショップの説明が分かりづらい。

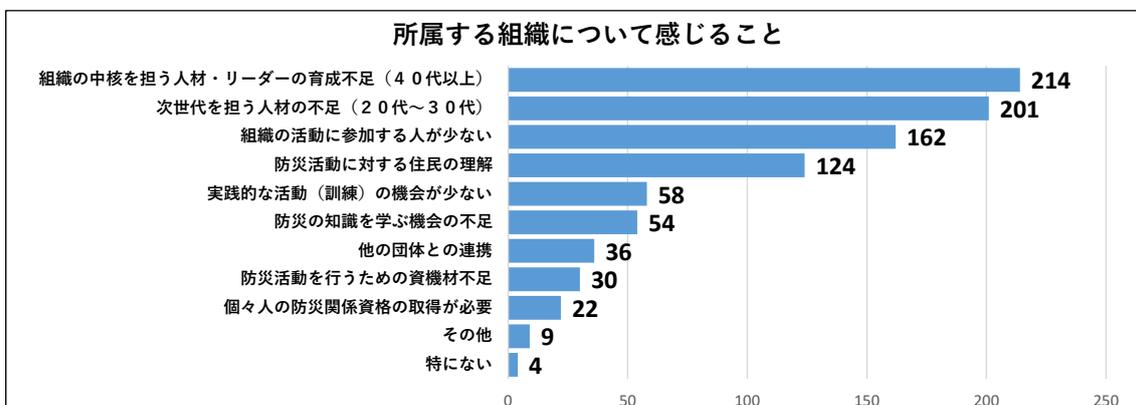
- ・進行が速くて、理解できない点が多かった。
- ・資料をカラー化、PDF 配布希望。
- ・概論では役に立たない。実践的な避難所運営計画や具体事例を出してほしい。
- ・一般論や進んだ地区の事例では現状とかけ離れている。実状を把握してほしい。
- ・研修項目が多すぎて内容が薄い。
- ・Web 聴講の音声不良や資料印刷不備。
- ・実習がしたい。
- ・開催日時の改善（日曜開催、開始時間を 13:00 集合・13:15 開始）
- ・グループワークで名札があれば良かった。
- ・避難所運営についてもう少し詳しく説明してほしい。
- ・大阪府は研修日程を早く決定・周知してほしい。
- ・ゲームより事例説明をもっと聞きたい。

(5) 今後希望する内容（複数回答）

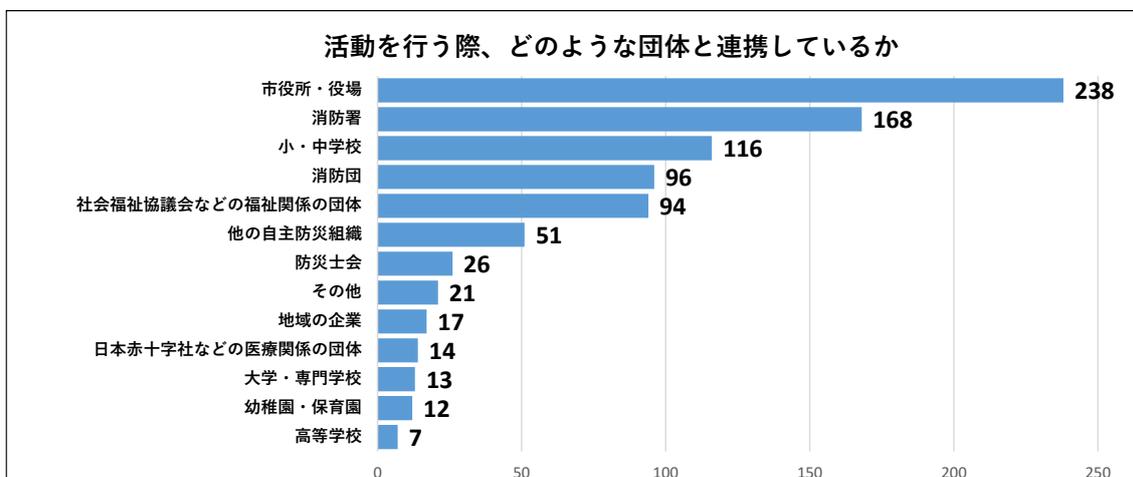


4. 自主防災組織について

(1) 所属する組織について日頃感じること（複数回答）



(2) 防災活動での他機関との連携状況（複数回答）



(3) 自主防災組織の人材確保のためにはどのような取り組みが必要だと思いますか

(主な内容のまとめ)

- ・取組んでいる内容などの広報や情報発信の強化が必要(自治体、地域自身)。
- ・地区の実情に応じた組織づくりに自治体が積極的に取り組む。
- ・行政がCMやSNSで自主防災組織の重要性を周知する。学校や地域の企業に声をかける。
- ・若い人の参加を促すためのパンフレット、イベント・祭り等。
- ・地域でのコミュニケーションを更に深める必要がある。
- ・子どもが参加できるイベント。子供会活動とコラボできるイベント。
- ・自主防災の重要性を認識してもらう啓発活動。
- ・学校での防災教育。
- ・小中学校等の保護者が参加しやすい内容の勉強会や訓練。
- ・防災士の育成や資格取得の支援。
- ・自治体や各団体との連携。
- ・地域住民の意識改革が必要。
- ・女性の参加を促進。
- ・共通の話題を探して共有し、相互理解と信頼感を深めたうえで誘う。
- ・堅苦しくない楽しい企画を実施する。
- ・毎年一定の日に防災訓練ができるような組織づくり。
- ・自治会活動から切り離れた組織とすることも考える。
- ・防災組織の運営支援者の事前登録。
- ・地域住民が集まれるイベントなどで、災害時、自分なら何ができるか、ボランティア可能なことをバンク登録してもらう。
- ・防災訓練の時に炊き出しなどの実演をする。

- ・連絡網、情報交換のデジタル化。
- ・語り部、経験した人から直接話を聞き、最新の情報により危機感をもってもらう。
- ・参加することのメリット（手当）等が必要。
- ・自治会役員などの兼務でなく、数年で交代しないような防災会専門メンバーの存在。

（４）日々活動の中で悩んでいることはありますか（主な内容のまとめ）

- ・地元住民、町会組織が弱体化してきているため、行政の後方支援がもっと必要。
- ・行政がどのくらいのことが出来るのかはっきりと分からない中、どのくらいの準備が必要なのかが非常に想定しづらい。
- ・それぞれの組織に特定の人重複して役員を兼ねているので負担が大きい。
- ・自主防の役員の高齢化と活動役員の不足。
- ・防災訓練への参加率が低いこと。
- ・地区の中での防災に関する財源の捻出。
- ・自主防災の考え方や活動が浸透しない。
- ・若手が関心を持ってくれない。
- ・周りの人の関心が少ない。
- ・興味を持って人達の見出し方が分からない。
- ・人材不足。若い世代の人材確保。
- ・自主防災組織メンバーの意識に格差がある。
- ・マンション防災は特殊なため、それについて学ぶ場を設けてほしい。
- ・ワンルームマンションが多数あり、回覧を受け取らない住民が多数いる。
- ・地域を歩いてみて、狭い道路、高いブロック塀等が多い。避難が困難な場所が少なくない。
- ・時代に合わせた方法で、世代間ギャップを埋めながら、交流の場を持つことが難しい。
- ・各々が仕事や他の地域の役割を持っているので、自主防の活動に割ける時間が少なく、思うような活動が進んでいない。
- ・重度障害者、自宅療養者の避難行動計画作成における、病院・デイサービスとの情報共有連携が進まない。
- ・要支援者への対応とその方々（家族）のプライバシーの配慮。
- ・自主防災会として定期的な訓練・研修の開催方法やアイデアが少ないこと。
- ・避難所運営マニュアルの例がほしい。
- ・防災訓練を開催したいが集客や内容を詰めるのに苦労している。
- ・引継ぎがうまくいかない。
- ・活動がルーチン化してしまっている。
- ・地域に外国の方が多数おられ、参加を促す方法に苦慮している。
- ・安否確認のための移動が大変。LINE 等を使いたいが、スマホを持っていない人も多い。
- ・地区防災計画を未だ作成していないので甚大災害が発生した場合の対応が不安。